|  |  |
| --- | --- |
| 解答例 | 解説 |
| １ | 技能アイコン技能アイコン技能アイコン技能アイコン技能アイコン技能アイコン技能アイコン技能アイコン | ①　新田②　ぐわ③　五街道④　西廻り航路⑤　東廻り航路⑥　⑦　三都⑧　 | １ | ①　新田の開発は幕府や藩だけでなく，民間人によってもおこなわれた。民間人が開いた新田は，開いた人物の名がつけられていることが多い。②　備中ぐわは，刃の部分が３・４本に分かれているため，深く耕すことができた。③　五街道は幕府の役人が直接支配した。④⑤　西廻り航路・東廻り航路は，江戸の商人であったによって開かれた。瑞賢は後に武士に取りたてられている。⑥　儒学の中でも特にが重視された。⑦　江戸，京都，大阪である。⑧　上方を中心にさかえた町人文化である。上方とは京都・大阪をさした。 |
| ２ | 技能アイコン技能アイコン技能アイコン技能アイコン | ⑴　千歯こき⑵　⑶　人形⑷　 | ２ | ⑴　千歯こきが発明されるまでの脱穀は，こき箸という２本の棒でおこなわれていた。⑵　蔵屋敷で米のなどをおこなった商人を蔵元という。⑶　人形浄瑠璃は江戸時代初期に，三味線を伴奏とした語りと操り人形が結びついて生み出され，，があらわれて，発達した。⑷　浮世絵は，Ｄの｢見返り美人図｣の作者であるにより始められた。 |
| ３ |  | ⑴　商品作物⑵　東海道⑶　将軍のおひざもと⑷　天下の台所⑸　町人 | ３ | ⑴　商品作物には，織物の材料となる・綿，油の原料となるなたねなどがある。⑵　東海道は江戸と京を結ぶ主要街道で，街道には53の宿場がつくられた。現在の国道１号線とほぼ同じルートである。⑶　幕府が置かれ，将軍が居住した江戸は，18世紀初めには人口が100万をえる大都市に成長した。江戸で生活する人のうち，町人は約半分の50万人で，残りの半分を武家や寺社の人口がしめた。⑷　蔵屋敷が集中した大阪には，日本各地から米や特産物が集まり，商業が特に発達した。18世紀前半の大阪の人口は約35万人と考えられている。⑸　文化は大商人の経済力を背景に発達した。 |